

Tencent Real-Time Communication

コンソールガイド

製品ドキュメント



Tencent Cloud

Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

コンソールガイド

アプリケーション管理

アプリケーションの作成

アプリケーション検索

アプリケーション情報

機能設定

コールバック設定

クイックマスター

使用統計

インタラクティブオーディオ／ビデオ

クラウドレコーディング

監視ダッシュボード

Call Data

通話リストの確認

通話の詳細

全リンク詳細

リアルタイムモニタリング

開発支援

UserSigの生成と検証

コンソールガイド

アプリケーション管理

アプリケーションの作成

最終更新日：：2024-07-19 15:32:54

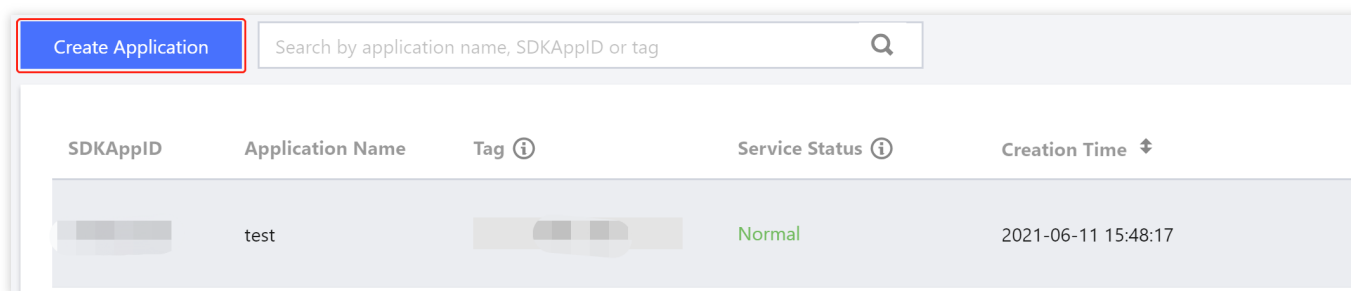
TRTCは、アプリケーションの形式で様々な業務またはプロジェクトを管理します。TRTCコンソールの中でそれぞれの業務またはプロジェクトのために異なるアプリケーションを作成し、これにより業務またはプロジェクトのデータの隔離を実現します。

注意事項

各Tencent Cloudアカウントにつき、最大100のTRTCアプリケーションを作成できます。

アプリケーションの作成

1. [Tencent Real-Time Communicationコンソール](#)にログインし、左側のバーの【アプリケーション管理】をクリックします。



2. 上側の【アプリケーションの作成】をクリックし、実際の業務ニーズに応じて、アプリケーション名と設定タグを入力します。

Create Application

Application Name

Max. 15 characters (digits, Chinese characters, letters, and unde

Confirm

Cancel

説明：

数字、中国語、英語、アンダーバーのみ入力できます。15文字を超えないこと。

3. 【OK】をクリックして、作成します。

アプリケーションリストの確認

アプリケーションの作成が完了すると、対応するアプリケーション情報がアプリケーションリストの中に表示されます。その中に表示される情報には、SDKAppID、アプリケーション名、タグ、サービスステータス、作成時間が含まれます。

SDKAppID	Application Name	Tag ⓘ	Service Status ⓘ	Creation Time ↕
[Redacted]	test	[Redacted]	Normal	2021-06-11 15:48:17
[Redacted]	test	The application has no tag.	Normal	2021-02-12 01:36:26

情報項目	説明
SDKAppID	アプリケーション作成の完了後に自動生成されるSDKAppID。アプリケーションを一意に識別し、音声APIインターフェースを呼び出す時は、このパラメータを提供する必要があります。
アプリケーション名	アプリケーション作成時にカスタマイズするアプリケーション名。
タグ	アプリケーション情報 で設定するタグ値。 お客様の様々なTencent Cloudのリソー

	スを識別し、整理するために用います。例えば、企業には複数の業務部門があり、各部門に1つまたは複数のTRTCアプリケーションがある場合、企業はTRTCアプリケーションにタグを追加することで部門情報を識別できます。
サービスステータス	現在のアプリケーションのサービスステータスで、 正常 、 使用停止 の2種類があります。 サービスステータスが「使用停止」と表示され、アクティブに操作していない場合は、 パッケージ残量 が0になっていないか、 Tencent Cloudアカウント が支払い延滞になっていないかご確認ください。
作成時間	アプリケーション作成が完了した時間。
操作	【使用統計】、【機能設定】、【アプリケーション情報】などの操作をサポートします。

関連ドキュメント

アプリケーションリストで関連アプリケーションを検索したい場合、具体的な操作方法については、[アプリケーションの検索](#)をご参照ください。

アプリケーションの基本情報を確認したい場合、具体的な操作については、[アプリケーション情報](#)をご参照ください。

アプリケーションの機能設定情報を設定または確認したい場合、具体的な操作方法については、[機能設定](#)をご参照ください。

Cloud MixTranscoding時にカスタマイズした背景画像を設定したい場合、素材管理で対応する画像素材を追加できます。

アプリケーションに付属するDemoソースコードのクイック実行が必要な場合、具体的な操作方法については、[クイックマスター](#)をご参照ください。

アプリケーション検索

最終更新日：：2024-07-19 15:32:54

ユーザーが必要なアプリケーションを迅速に検索できるようにするため、TRTCコンソールではアプリケーション検索機能を提供し、アプリケーション名、SDKAppIDまたはタグでアプリケーションを抽出する機能をサポートします。

注意事項

検索ボックスは、同じリソース属性の複数の検索情報の入力をサポートしています。Enterキーを押すと検索情報を分割できます。

検索ボックスは、異なるリソース属性の複数の検索情報の入力をサポートしていません。リソースの属性が異なる複数の検索条件の入力を選択した場合、システムはデフォルトで、最後に入力したリソース属性の情報を検索します。

操作手順

1. **【アプリケーション管理】**に入り、アプリケーションリスト上方の検索ボックスをクリックします。
2. リソースのタイプを選択して、実際の状況に基づいて検索情報を入力し、抽出ボタン



をクリックして、抽出します。

説明：

検索情報を直接入力すると、デフォルトで「アプリケーション名」に対応するアプリケーションが検索されます。

1つの検索情報を変更したい場合は、その検索情報をクリックし、内容を修正してEnterキーを押します。

変更した情報を削除したい場合は、検索条件右側の削除ボタン



をクリックして削除できます。

関連資料

アプリケーションの機能設定情報を設定または確認したい場合、具体的な操作方法については、[機能設定](#)をご参照ください。

Cloud MixTranscoding時にカスタマイズした背景画像を設定したい場合、素材管理で対応する画像素材を追加できます。

アプリケーションとセットになるDemoソースコードのクイック実行が必要な場合、具体的な操作方法については、[クイックマスター](#)をご参照ください。

アプリケーション情報


最終更新日：2024-07-19 15:32:54

アプリケーション作成の完了後、【アプリケーション情報】から入り、アプリケーションの詳細情報を確認できます。その表示情報にはアプリケーション基本情報、Relayed live streaming情報、TRTCサービスステータス、アプリケーションタグなどの内容が含まれます。

アプリケーション情報

アプリケーション情報の説明

1. TRTCコンソールに入り、【アプリケーション管理】を選択してアプリケーションリストを確認します。
2. アプリケーション情報を変更したいアプリケーションを選択し、その右側の操作バーの【アプリケーション情報】をクリックします。

SDKAppID	Application Name	Tag ⓘ	Service Status ⓘ	Creation Time ⬆	Op
[Redacted]	123	The application has no tag.	Normal	2021-02-12 01:36:26	

3. アプリケーション詳細画面に入り、【アプリケーション情報】タブの「アプリケーション情報」コンポーネントから現在のアプリケーションの基本情報を確認できます。

The screenshot shows the 'Application Management - 123' page. The 'Application Info' tab is selected and highlighted with a red box. It displays the following information:

- Application Name:** 123
- SDKAppID:** [Redacted]
- Creation Time:** 2021-02-12 01:36:26
- Description:** No description. To provide a description, click "Edit".




Other tabs include 'Function Configuration', 'Callback Configuration', 'Material Management', and 'Quick Start'. On the right, there are sections for 'Relayed Live Streaming Info' (with fields for appid and bizid) and 'Tag' (with a note: 'No tag. To add one, click "Edit"'). At the bottom left, the 'TRTC Service Status' is shown as 'Available'.

情報項目	説明
アプリケーション名	アプリケーション作成時にユーザー定義した名称。カスタマイズによる変更が可能です。
SDKAppID	アプリケーション作成の完了後に自動生成されるSDKAppID。アプリケーションを一意に識別し、音声APIインターフェースを呼び出す時は、このパラメータを提供する必要があります。
作成時間	アプリケーションの作成完了時間。
アプリケーション紹介	アプリケーションの紹介説明。カスタマイズによる変更が可能です。
アプリケーションのソース	アプリケーション作成のソース情報： IM コンソールでTencent TRTCサービスを有効すると、「アプリケーションソース」のフィールドが表示されます。 TRTC コンソールをアクティブに作成した場合は「アプリケーションソース」のフィールドは表示されません。

アプリケーション情報を修正する

1. 【アプリケーション管理】でタグ情報を変更したいアプリケーションを選択し、その右側の操作バーの【アプリケーション情報】をクリックしてアプリケーション詳細画面に入ります。
2. 【アプリケーション情報】のタブの中から、「アプリケーション情報」コンポーネントを見つけ、右側の【編集】をクリックします。

Application Info

Application Name	123
SDKAppID	  
Creation Time	2021-02-12 01:36:26
Description	No description. To provide a description, click "Edit".

3. アプリケーション情報変更のポップアップボックスに入って、アプリケーション名およびアプリケーション紹介情報を修正して、【修正】をクリックすると保存されます。

Modify Application

Application Name*

Description

Up to 300 words

説明：

アプリケーション名の入力ボックスは数字、中国語、英語、アンダーバーの入力のみサポートしています。15文字を超えないこと。

アプリケーション紹介の入力ボックスは数字、中国語、英語、アンダーバーの入力のみサポートしています。15文字を超えないこと。

Relayed live streaming情報

Relayed live streaming。TRTCはクラウド上でバイパストランスコーディングのクラスターを利用して、TRTCが使用したUDPプロトコルを標準のライブストリーミングのRTMPプロトコルに変換し、TRTCの音声ビデオデータを標準のLive Video Broadcasting（CSS）システムにプッシュして、CDN経由で分配します。CDN relayed live streamingの実現の機能を実現したい場合はこちらの情報を利用できます。

Relayed Live Streaming Info ⓘ

appid  

bizid  

TRTCサービスのステータス

主に、現在のアプリケーションのTRTC基本サービスと付加価値サービスのステータスを表示し、「正常」、「サービス停止」の2種類の状態があります。

正常：

ステータスが正常の時、TRTC基本サービスと付加価値サービスはいずれも正常に使用できます。サービスが継続的に正常使用できるように、速やかに[パッケージを継続購入](#)、または[後払いの開始](#)を行い、[Tencent Cloudアカウント](#)の残高を確保してください。

TRTC Service Status

Status **Normal**

More ▼

サービス停止：

ステータスがサービス停止の時、TRTC基本サービスと付加価値サービスはいずれも利用不可となります。以下に説明する状況が存在するかどうか確認してください。

1.1 後払いを開始していない状態で、無料お試しパッケージを使い切った、または期限切れとなり、サービスが自動的に停止された場合：[パッケージを購入](#)することによりサービスを再度アクティブ化するか、または直接 [後払いの開始](#)を行うことができます。

1.2 すでに後払いを開始していて、Tencent Cloudアカウントに支払い遅延があるためサービス停止に至った場合：[支払い遅延の解消](#)の後、サービスは自動的に復旧します。

1.3 手動操作でアプリケーションを無効化したため、サービスが停止状態となっている場合：[【アプリケーションの有効化】](#)をクリックするとサービスを再開できます。

Tag ⓘ

No tag. To add one, click "Edit".

アプリケーションを自分で無効化

1. [【更なる操作】](#)のドロップダウンメニューを選択し、[【アプリケーションの無効化】](#)をクリックします。
2. 『使用停止ステートメント』を読み、[【使用停止】](#)をクリックします。
3. アプリケーションの無効化を確認した後、操作ミスにより不要な損失が生じるのを防ぐため、二次認証を行う必要があります。
4. 使用停止操作に成功した後、完全に有効になるまで3~5分かかります。しばらくお待ちください。

アプリケーションを自分で有効化

1. [【アプリケーションの有効化】](#)をクリックします。

- 『有効化ステートメント』を読み、【有効】をクリックします。
- アプリケーションの有効化を確認した後、操作ミスにより不要な損失が生じるのを防ぐため、二次認証を行う必要があります。
- 有効化操作に成功した後、完全に有効になるまで3~5分かかります。しばらくしてからページを更新してご確認ください。

アプリケーションを自分で削除

- 【更なる操作】を選択し、【アプリケーションの削除】をクリックします。
- 『削除ステートメント』を読み、【削除】をクリックします。
- アプリケーションの削除を確認した後、操作ミスにより不要な損失が生じるのを防ぐため、二次認証を行う必要があります。
- 削除操作に成功した後、完全に有効になるまで3~5分かかります。しばらくお待ちください。

説明：

コンソールの二次認証に成功すると、30分間は再認証の必要はありません。慎重に操作してください。

使用停止/削除を有効にしても、新規ユーザーがルームに入室するのを防ぐだけで、有効になる前に入室していたユーザーは通常どおり課金されます。ルームの解散 インターフェースによって、使用中のルームを強制的に閉鎖することができます。

使用停止/削除を有効にすると、このアプリケーションの基本サービス（オーディオビデオ通話、インタラクティブライブストリーミング）と付加価値サービス（ミクスストリーミングトランスコード、クラウドレコーディングなど）はいずれも使用できなくなります。

アプリケーションを自分で無効化/有効化/削除すると、完全に有効になるまで3~5分かかります。しばらくお待ちください。

ステータスが正常の場合は、アプリケーションを削除することができません。先に自分で無効化したあとに、削除を行ってください。

タグ

タグは、お客様の様々なTencent Cloudのリソースを識別し、整理するために用います。例えば、企業には複数の業務部門があり、各部門に1つまたは複数のTRTCアプリケーションがある場合、企業はTRTCアプリケーションにタグを追加することで部門情報を識別できます。

アプリケーションタグの追加


- 【アプリケーション管理】でタグ情報を変更したいアプリケーションを選択し、その右側の操作バーの【アプリケーション情報】をクリックしてアプリケーション詳細画面に入ります。
- 【アプリケーション情報】のタブの中から、「タグ」コンポーネントを見つけ、右側の【編集】をクリックします。

Tag ⓘ

No tag. To add one, click "Edit".

3. タグ編集のポップアップボックスに入り、[タグ管理](#) で作成したタグキーとタグ値を選択します。

Edit Tags

The tag is used to manage resources by category from different dimensions. If tag does not meet your requirements, please go to [Manage Tags](#) 

1 resource selected

<input type="text" value="Tag key"/>	<input type="text" value="Tag value"/>	×
--------------------------------------	--	---

+ Add

OK

Cancel

説明：

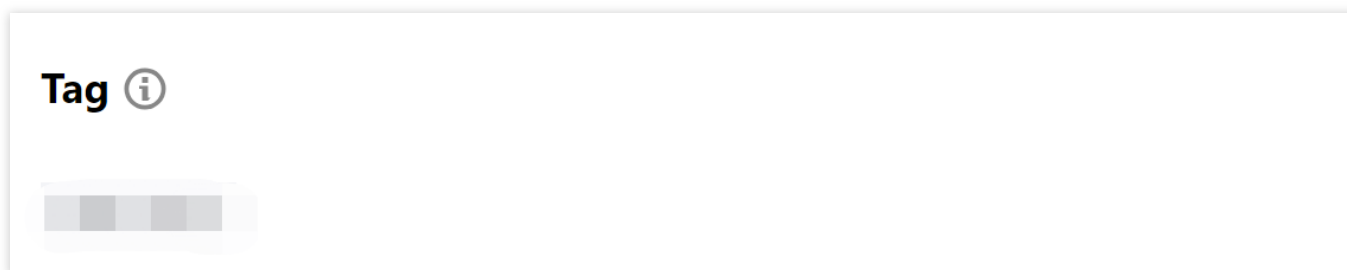
アプリケーションに複数のタグを追加する機能をサポートしています。【+追加】をクリックして新しいタグ設定ボックスを作成します。

アプリケーションに複数のタグを追加する機能をサポートしています。【+追加】をクリックして新しいタグ設定ボックスを作成します。

4. 【OK】をクリックして保存すると、コンソールがリフレッシュされポップアップボックスに変更に成功したか否かが表示されます。


アプリケーションタグの削除

1. 【アプリケーション管理】でタグ情報を変更したいアプリケーションを選択し、その右側の操作バーの【アプリケーション情報】をクリックしてアプリケーション詳細画面に入ります。
2. 【アプリケーション情報】のタブの中から、「タグ」コンポーネントを見つけ、右側の【編集】をクリックします。






3. タグ編集のポップアップボックスに入り、削除したいタグを選択して、右側の削除ボタンをクリックします。

Edit Tags

The tag is used to manage resources by category from different dimensions. If the tag does not meet your requirements, please go to [Manage Tags](#) 

1 resource selected

		
Tag key	Tag value	×
Tag key	Tag value	×

[+ Add](#)

OK

Cancel

4. 【OK】 をクリックして保存すると、コンソールがリフレッシュされポップアップボックスに変更に成功したか否かが表示されます。

関連ドキュメント

新しいアプリケーションを作成したい場合、具体的な操作方法については、[アプリケーションの作成](#)をご参照ください。

アプリケーションリストで関連アプリケーションを検索したい場合、具体的な操作方法については、[アプリケーションの検索](#)をご参照ください。

アプリケーションの機能設定情報を設定または確認したい場合、具体的な操作方法については、[機能設定](#)をご参照ください。

Cloud MixTranscoding時にカスタマイズした背景画像を設定したい場合、素材管理で対応する画像素材を追加できます。

アプリケーションに付属のDemoソースコードをクイック実行する必要がある場合、操作の詳細は[クイックマスター](#)をご参照ください。

機能設定

最終更新日：2024-07-19 15:32:54

アプリケーション作成後、【機能設定】によって現在のアプリケーションのRelayed Push、クラウドレコーディング、高度な権限制御の機能を有効にできます。この画面の機能設定はいずれも変更完了の約5分後に有効化されます。

Relayed Push設定

注意事項

UDP通信プロトコルによるTRTCサービスは、プロトコル変換することで、オーディオ・ビデオストリーミングをCSSのシステムに結合させます。このプロセスを「Relayed Push」と呼びます。

デフォルトではRelayed Push機能はオフになっています。Relayed Push機能を有効にするには、先にCSSサービスをオンにする必要があります。



Relayed PushをCDN relayed live streaming に使用する場合、CSSではRelayed live Streamingによる下りトラフィック/帯域幅に基づき、関連費用が課金されます。詳細は、[CSS>トラフィック帯域幅課金](<https://www.tencentcloud.com/document/product/267/2818>)の説明をご参照ください。

Relayed Pushをクラウドレコーディングに使用する時は、レコーディング、レコーディングファイル保存などの費用が発生します。

CSSコンソールでRelayed Pushに使用されるプッシュドメイン名 (`xxxxx.livepush.myqcloud.com`) にレコーディング、トランスコーディング、スクリーンキャプチャ・ポルノ検出、ウォーターマークなどの課金機能のテンプレートをバインドする場合は、Relayed Push時に、テンプレートに対応する付加価値サービス費用が発生します。

Relayed Push機能をオンにする

- TRTCコンソールに入り、【アプリケーション管理】を選択します。
- 機能設定を変更したいアプリケーションを選択し、対象のアプリケーションがある行の【機能設定】をクリックします。

SDKAppID	Application Name	Tag ⓘ	Service Status ⓘ	Creation Time ⚡	Operation
[REDACTED]	test	[REDACTED]	Normal	2021-06-11 15:48:17	 Usage Statistics  Application Info

- 【Relayed Push設定】で、【Relayed Pushを有効】の右側のボタンをクリックします。

Relay to CDN

Enable relay to CDN

Relay mode Specified-stream relay ⓘ Global relay ⓘ

Please enable relay to CDN first.

4. ポップアップした【Relayed Push機能をオンにする】のポップアップボックスで、リスク説明にしっかりと目を通し、アクティブ化について確認してから、【Relayed Push機能をオンにする】をクリックします。

Enable relay to CDN

The relay-to-CDN feature is free, but charges may be incurred in the following cases. Please read the notes below carefully before enabling this feature.

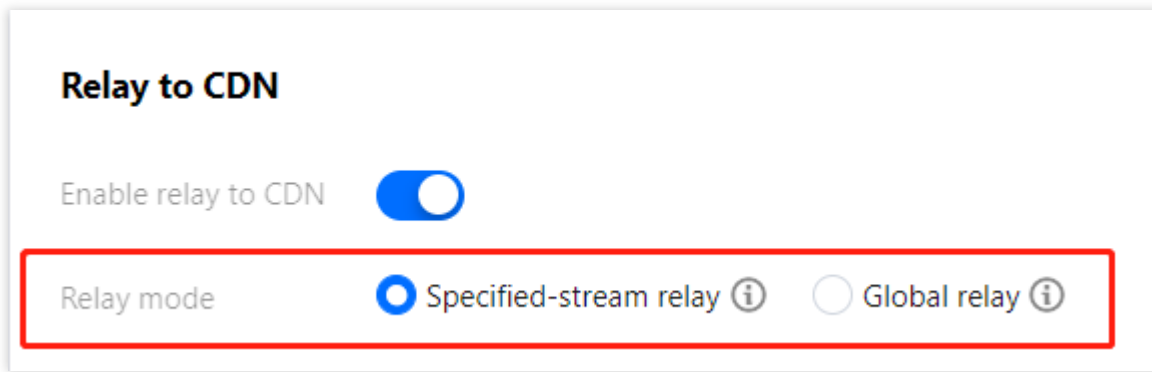
1. When the relay-to-CDN feature is used to implement [CDN live streaming](#) ⓘ, CSS will charge you based on the downstream traffic/bandwidth consumed..
2. Using the relay-to-CND feature to implement [on-cloud recording](#) ⓘ will incur recording and storage fees..
3. If you have bound recording, transcoding, screencapturing & porn detection, or watermarking templates to a relay address (xxxx.livepush.myqcloud.com/xxx.tlivecloud.com) in the [CSS console](#) ⓘ, you may incur [additional fees](#) ⓘ.

I have read and agree to the above terms..

[Enable relay to CDN](#) [Cancel](#)

Relayed Push### Relayed Push方式の選択

[Relayed Push機能をオン](#)にした後、実際の業務の状況に応じてRelayed Pushの方式を選択することができます。



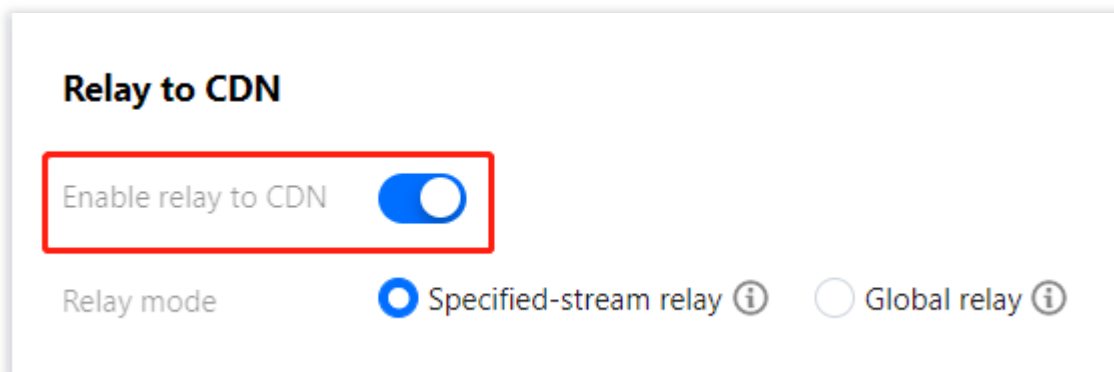
Relayed Push用指定ストリーム：「Relayed Push用指定ストリーム」の選択後、ミクスストリーミングトランスコードが不要な場合は、クライアントSDK `startPublishing`のインターフェースを呼び出して、直接Relayed Pushを起動させてください。ミクスストリーミングトランスコードが必要な場合は、Cloud MixTranscodingのドキュメントのガイド操作に従ってください。ミクスストリーミングトランスコーディング後にAuto-Relayed Pushが実行されます。

Global Auto-relay：「Global Auto-relay」を選択すると、すべてのTRTCのアップストリームのオーディオビデオストリーミングはCSSシステムにAuto-Relayed Pushされます。

Relayed Push機能をオフにする

Relayed Push機能を無効にしたい場合、具体的な操作手順は次のとおりです。

1. 【[アプリケーション管理](#)】をクリックして、機能設定を変更したいアプリケーションを選択し、対象のアプリケーションがある行の【[機能設定](#)】をクリックします。
2. 【[Relayed Push設定](#)】で、【[Relayed Pushを有効](#)】の右側のボタンをクリックします。



3. ポップアップした【[Relayed Push機能をオフにする](#)】のポップアップボックスで、[リスク説明](#)にしっかりと目を通し、無効化について確認してから、【[Relayed Push機能をオフにする](#)】をクリックします。

Disable relay to CDN

Before disabling relay to CDN, please read the following risks.

1. You can no longer use the [CDN live streaming](#) feature after you disable relay to CDN.
2. You can no longer use the [on-cloud recording](#) feature after you disable relay to CDN.
3. If you have bound recording, transcoding, screencapturing & porn detection, or watermarking templates to a relay address (xxxx.livepush.myqcloud.com/xxx.tlivecloud.com) in the [CSS console](#), the features implemented by those templates will also become available after you disable relay to CDN.

I am fully aware of the risks of disabling relay to CDN.

Disable relay to CDN

Cancel

クラウドレコーディングの設定

注意事項

TRTCのサービスは、Relayed PushがCSSの機能を使用することで完全なクラウドレコーディング機能を提供し、レコーディングされたファイルはVODのプラットフォームに保存されます。

レコーディング機能は、CSSサービスの機能を使用するため、CSSレコーディングの費用が発生し、当月のCSSレコーディングの同時チャンネルのピーク値が決算の基準となります。詳しい課金規則については、[CSS > CSSレコーディング料金説明](#)をご参照ください。

レコーディング後のファイルはVODプラットフォームに保存され、VODの保存料金が発生します。VODプラットフォームに保存されたレコーディングファイルの保存容量で課金されます。詳しい課金規則については、[VOD > ビデオ保存（日次決算）料金説明](#)をご参照ください。

レコーディングしたビデオファイルを再生またはダウンロードしたい場合、VODサービスのトラフィック（ビデオアクセラレーション）料金が発生し、下りアクセラレーションのトラフィックに応じて課金されます。詳しい課金ルールは、[VOD > ビデオアクセラレーション（日次決済）料金説明](#)をご参照ください。

クラウドレコーディング機能はデフォルトでオフになっています。クラウドレコーディング機能を有効にするには、CSSとVODサービスをアクティブにする必要があります。

クラウドレコーディングはRelayed Pushに依存します。先に[Relayed Push](#)を有効にしてください。

クラウドレコーディング機能をオンにする

TRTCのクラウドレコーディングは、ルーム内の各ユーザーのオーディオ・ビデオストリーミングをレコーディングして個別のファイルにすることができます。

クラウドレコーディング設定の変更

ご注意：

クラウドレコーディングの設定を変更すると、オンラインで稼働中の作業データに影響を与える可能性があります。リスクを確認してから、注意して続行してください。

1. **【アプリケーション管理】** をクリックして、クラウドレコーディングの設定を変更したいアプリケーションを選択し、対象のアプリケーションがある行の **【機能設定】** をクリックします。
2. **【機能設定】** > **【クラウドレコーディング設定】** で、右側の **【編集】** をクリックしてクラウドレコーディング設定の変更画面に入ります。

On-Cloud Recording Configuration

Enable On-Cloud Recording

On-Cloud Recording Mode Specified User Recording ⓘ Global Auto-Recording ⓘ

Recording File Format	File Type ⓘ	Max Duration of Single File (min) ⓘ	File Retention Duration (day) ⓘ	Resumption Ti
	HLS	No time limit	Permanent	Not resume

File Storage Location 主应用() ⓘ

Recording Callback Address Not set. To modify it, please click "Edit" at the upper right corner. ⓘ

3. 実際の状況に応じて 設定情報を変更し、**【OK】** をクリックして変更を保存します。

クラウドレコーディング機能をオフにする

クラウドレコーディングをオフにすると、オンラインで手動レコーディングや自動レコーディングなどのクラウドレコーディングを実行できなくなります。オフにする前に、業務でクラウドレコーディングが不要であることを確認してください。

1. **【アプリケーション管理】** をクリックして、機能設定を変更したいアプリケーションを選択し、対象のアプリケーションがある行の **【機能設定】** をクリックします。
2. **【機能設定】** > **【クラウドレコーディング設定】** で、**【クラウドレコーディングの起動】** の右側のボタンをクリックします。

On-Cloud Recording Configuration

Enable On-Cloud Recording

On-Cloud Recording Mode Specified User Recording ⓘ Global Auto-Recording ⓘ

Recording File Format	File Type ⓘ	Max Duration of Single File (min) ⓘ	File Retention Duration (day) ⓘ	Resumption T
	HLS	No time limit	Permanent	Not resume

File Storage Location ⓘ

Recording Callback Address Not set. To modify it, please click "Edit" at the upper right corner. ⓘ

3. オフにした後の影響にしっかりと目を通し、クラウドレコーディングの無効について確認してから、【クラウドレコーディングをオフにする】をクリックします。

Disable On-Cloud Recording

If on-cloud recording is disabled, your online running services cannot be recorded cloud, including manual recording and auto-recording. Please confirm that your business no longer needs the on-cloud recording function before disabling it.

Cancel

Disable On-Cloud Recording

高度な権限制御

特定のルームに、入室制限またはマイクアクセス制限を追加したい場合、つまり指定したユーザーのみ入室またはマイクアクセスを許可したい場合に、クライアントで権限を判断するとクラッキングされて攻撃されやすいことが懸念される場合は [高度な権限制御を有効にする](#) ことをご検討ください。

Advanced Permission Control

Enable



When to enable advanced permission contro

注意事項

高度な権限制御を有効にすると、現在のSDKAppIDの全てのユーザーは、入室するためにTRTCParamsでprivateMapKeyパラメータを正しく渡す必要があります。このSDKAppIDを使用するユーザーがオンラインにいる場合は、この機能を不用意に有効にしないでください。

高度な権限制御を有効にする

1. 【アプリケーション管理】をクリックして、高度な権限制御を有効にしたいアプリケーションを選択し、対象のアプリケーションがある行の【機能設定】をクリックします。
2. 【機能設定】>【高度な権限制御】で、右側の【高度な権限制御のオン】の右側ボタンをクリックします。

Enable Advanced Permission Control

Note: After this feature is enabled, all users using this SDKAppID must pass the `privateMapKey` in `TRTCParams` to enter the room. If a user is using this SDKAppID, it is advised not to enable this feature.

If you fully understand the above risks and still want to enable the feature, click "C

[Confirm](#)[Cancel](#)

高度な権限制御を無効にする

1. 【アプリケーション管理】をクリックして、高度な権限制御を無効にしたいアプリケーションを選択し、対象のアプリケーションがある行の【機能設定】をクリックします。
2. 【機能設定】 > 【高度な権限制御】で、右側の【高度な権限制御のオフ】の右側ボタンをクリックします。

Disable Advanced Permission Control

Note: After this feature is disabled, all users using this SDKAppID can enter the room and connect their microphones without authorization. If a user is using this SDKAppID, it is advised not to disable this feature.

If you fully understand the above risks and still want to disable the feature, click "O

Confirm

Cancel

関連ドキュメント

新しいアプリケーションを作成したい場合、具体的な操作方法については、[アプリケーションの作成](#)をご参照ください。

アプリケーションリストで関連アプリケーションを検索したい場合、具体的な操作方法については、[アプリケーションの検索](#)をご参照ください。

アプリケーションの基本情報を確認したい場合、具体的な操作については、[アプリケーション情報](#)をご参照ください。

Cloud MixTranscoding時にカスタマイズした背景画像を設定したい場合、素材管理で対応する画像素材を追加できます。

アプリケーションに付属するDemoソースコードのクイック実行が必要な場合、具体的な操作については、[クイックマスター](#)をご参照ください。

コールバック設定

最終更新日：2024-07-19 15:32:54

イベントコールバックサービスは、HTTP/HTTPSリクエストという形でサーバーへのTRTC業務でのイベントの通知をサポートします。イベントコールバックサービスは、ルームイベントグループ（Room Event）とメディアイベントグループ（Media Event）のいくつかのイベントを統合しています。お客様は次のガイドラインを参照して、TRTCコンソールにコールバック設定情報を入力することができます。設定が完了すると、コールバックイベント通知の受信が可能になります。

前提条件

1. TRTCコンソールに入り、【[アプリケーション管理](#)】を選択します。
2. コールバックを設定する必要があるアプリケーションを選択し、右側操作バーの【[アプリケーション情報](#)】をクリックします。
3. 詳細ページに入り、【[コールバック設定](#)】タブをクリックすると、コールバック情報の設定ができます。

コールバックキーの設定

1. 【[コールバック設定](#)】タブの「コールバックキー」モジュールのうち、右上の【[編集](#)】をクリックします。
2. 実際の業務上のニーズに応じて、コールバックキー（オプション項目）を入力します。

説明：

コールバックキーは大文字・小文字と数字で構成され、32文字以内とします。

3. 【[OK](#)】をクリックすれば、コールバックキーの設定は成功です。

コールバックアドレスの設定

1. 【[コールバック設定](#)】タブの「コールバックアドレス」モジュールのうち、右上の【[編集](#)】をクリックします。
2. 実際の業務上のニーズに応じて、コールバックアドレス（必須項目）を入力します。

ルームコールバック：ルームの作成/解散、入/退室などのイベント通知をサポートします。

メディアコールバック：ビデオデータの開始/停止プッシュ、オーディオデータの開始/停止プッシュ、サブストリームデータ開始/停止プッシュなどのイベント通知をサポートします。

説明：

コールバックURLプロトコルヘッダー：HTTP、HTTPS など。2083文字以内とします。

3. 【[OK](#)】をクリックすれば、コールバックアドレスの設定は成功です。

クイックマスター

最終更新日：：2024-07-19 15:32:54

アプリケーション作成の完了後、【クイックマスター】のガイドによって、TRTCが提供するDemoを迅速に統合できます。

操作手順

1. TRTCコンソールに入り、【[アプリケーション管理](#)】で管理したいアプリケーションを選択します。
2. アプリケーション操作バーの【[アプリケーション情報](#)】をクリックしてアプリケーション詳細画面に入り、【クイックマスター】のタブを選択します。
3. 実際の業務シーンに基づき、SDKおよび付属のDemoソースコードをクリックしてダウンロードします。
4. 【[キーのコピー](#)】をクリックしてアプリケーションのUserSigのキーをコピーします。
5. ダウンロードしたソースコードパッケージを解凍して、指定のファイルを見つけて開き、SDKAppIDとキーを指定の位置にペーストします。

関連ドキュメント

新しいアプリケーションを作成したい場合、具体的な操作方法については、[アプリケーションの作成](#)をご参照ください。

アプリケーションリストで関連アプリケーションを検索したい場合、具体的な操作方法については、[アプリケーションの検索](#)をご参照ください。

アプリケーションの基本情報を確認したい場合、具体的な操作については、[アプリケーション情報](#)をご参照ください。

アプリケーションの機能設定情報を設定または確認したい場合、具体的な操作方法については、[機能設定](#)をご参照ください。

Cloud MixTranscoding時にカスタマイズした背景画像を設定したい場合、素材管理で対応する画像素材を追加できます。

使用統計

インタラクティブオーディオ／ビデオ

最終更新日：：2024-07-19 15:32:54

TRTCコンソールの**インタラクティブ音声ビデオの使用統計**では、作成したアプリケーションで消費した使用量の詳細データを確認する機能をサポートしています。

注意事項

使用統計はリアルタイム更新ではありません。5分ごとに1回統計し、データの表示には5分～20分の遅れがあります。

操作手順

1. TRTCコンソールに入り、左側のバーの【使用統計】>【[インタラクティブオーディオ／ビデオ](#)】を選択します。
2. 確認したいアプリケーションを選択し、確認したい時間帯を選択します。

詳細フロー

使用量の表示データは秒で計算し、分ごとに整数の値にして、1分未満は1分とします。このため、以下の各行に表示された使用量の分数をそのまま加算すると、実際に決算する分数とは若干の差異が生じます。最終的に課金される使用量は、[請求書センター](#)が出力した請求書を基準とします。

クラウドレコーディング

最終更新日：：2024-07-19 15:32:54

TRTCコンソールのクラウドレコーディングの使用量統計は、主にTRTCの [レコーディング時間による](#) 課金の使用量明細に用いられます。

注意事項

使用統計はリアルタイム更新ではありません。5分ごとに1回統計し、データの表示には5分～20分の遅れがあります。

操作手順

1. TRTCコンソールに入り、左側のバーの【使用統計】 > 【[クラウドレコーディング](#)】を選択します。
2. 確認したいアプリケーションを選択し、確認したい時間帯を選択します。

詳細フロー

使用量の表示データは秒で計算し、分ごとに整数の値にして、1分未満は1分とします。このため、以下の各行に表示された使用量の分数をそのまま加算すると、実際に決算する分数とは若干の差異が生じます。最終的に課金される使用量は、[請求書センター](#) が出力した請求書を基準とします。

監視ダッシュボード

Call Data

通話リストの確認

最終更新日：：2024-07-19 15:32:54

Tencent Cloud TRTC（Tencent Real-Time Communication）は、開発者向けに通話品質を詳細に記録する監視ダッシュボードを提供します。開発者は監視ダッシュボードによって、通話の詳細と情報を確認し、エンドユーザーの通話状態を把握しやすくなります。

通話記録リスト

TRTCコンソールにログインし、[監視ダッシュボード](#)に入って、現在のアカウント下の全てのルームの通話記録を確認できます。監視ダッシュボードの通話リストは、最後に作成されたアプリケーションの当日のルーム通話記録情報をデフォルトで表示し、通話開始時間をもとに逆順に配列されています。

そのうち、通話リストに表示されるデータ情報は次のとおりです。

データ項目	説明
ルーム ID	アプリケーションの通話に使用するroomid。
開始時間 ～終了時間	通話ルームの開始・終了時間。
ルーム滞在時間	最初のユーザーが入室してから最後のユーザーが退出するまでの時間。通話が終了していない場合は、最初のユーザーの入室からクエリ時までの継続時間となります。
参加ユーザー数	入室した累計ユーザー数。
操作	通話詳細の確認 をクリックして通話詳細画面に入り、詳細なチャートを確認できます。

通話情報の検索

監視ダッシュボードでは複数の検索方法をサポートし、ルームリストに対するデータ抽出を行うことができます。特定のアプリケーションの通話ルーム情報を確認したい場合は、[アプリケーションを選択してください](#)をクリックして、確認したいアプリケーションを選択し、[検索](#)をクリックします。

特定の時間範囲の通話ルーム情報に対する照会をサポートしています。今日、昨日、直近6時間、直近14日、またはカスタマイズした時間範囲を設定して**検索**をクリックすると、データを確認することができます。

特定の回の通話ルーム情報の照会をサポートしています。対応する時間範囲を選択し、ルームID (roomid) またはユーザーID (userid) を入力してから、**検索**をクリックします。

更なる操作

指定するルームに入った後に詳細な通話データを知りたい場合は、[通話詳細](#)をご参照ください。

通話の詳細

最終更新日：：2024-07-19 15:32:54

ここでは、モニタリングダッシュボードで、指定ルームに入った後に、通話詳細画面によって取得できるデータ情報について述べます。

操作手順

1. TRTCコンソールにログインし、【[監視ダッシュボード](#)】で確認したいルームを選択します。
2. ルームIDまたは右側の【[通話詳細の確認](#)】をクリックして、通話詳細画面に入ります。

情報の解説

基本情報

通話ルーム情報：現在のルームの基本情報。SDKAppID、アプリケーション名、ルームID、ルーム累計ユーザー数、通話の開始・終了時間、滞在時間などのデータが含まれます。

現在の表示時間範囲：その回のクエリーに対応する時間範囲を表示します。1回のクエリーの最大表示時間は5時間です。

通話ユーザーリスト

表示内容には、ユーザーID、ユーザーロール、ユーザータイプ、リージョン、ユーザーの現在の時間範囲での滞在状況、ユーザーの入退室時間、滞在時間、SDKバージョン、SDKタイプ、デバイス情報、ネットワーク情報が含まれます。

データ項目	説明
ユーザーID	デフォルトで直近の6名のユーザーを表示し、最大で同時に20名のユーザーを表示します。ユーザー数が6人を超えた時には、開発者は手動で【ユーザーを追加】するか、または【全ユーザーの確認】後に選択して追加できます。
ユーザーロール	キャスター、視聴者の2種類に分かれます。キャスターは上り、下りの権限があり、視聴者は下りのみ権限があります。
ユーザータイプ	ユーザーの上り、下りのタイプを表します。緑色の上矢印は、ユーザーに上りデータがあったことを表し、黄色の下矢印はユーザーに下りデータがあったことを表します。
リージョン	ユーザーに対応する地理的リージョン。

ユーザーの現在の時間範囲での滞在状況	その回のクエリーの表示時間範囲の中で、ユーザーがルーム内に滞在した時間帯を青色のブロックで表示します。ユーザーがルーム内にいなかった時間帯は灰色のブロックで表示します。
ユーザーの入退室時間	ユーザーが最初に入室し、最後に退室するまでの時間。
滞在時間	ユーザーがルーム内にいた累計滞在時間。
SDKバージョン	ユーザーの現在のクライアントのSDKバージョンナンバー。
SDKタイプ	ユーザーが使用するプラットフォームまたはOSのタイプ。
デバイス表示	ユーザーが使用するシステムモデルまたはコード。
ネットワーク表示	ユーザーが使用するネットワークタイプ。

受/送信側データ

通話ユーザーについては、リモートエンドで他の人のデータを受信すると同時に、自分のローカルのデータも送信します。このため受信と送信の両方向のデータ情報が必要です。デフォルトでは、監視ダッシュボードの通話詳細画面に【[受信側ビュー](#)】のデータ概要が表示されますが、クリックして切り替えて【[送信側ビュー](#)】を確認することもできます。

受信側ビュー

【全て】、【ビデオ】、【音声】、【画面共有】の4つのサブビューに分かれ、対応するタイプのデータを受信した時は、監視ダッシュボード画面に対応するタグ項目が表示されます。ない場合は表示されません。

概要チャートは、デフォルトで、ユーザーが受信した他のユーザーのデータ状況が全て表示されます。開発者は異なる色のリージョンラベルを使用して、指定された送信側ユーザーを選択し、1人のユーザーのデータ概要を確認できます。

概要チャートの赤線が現れた部分は、この時点でネットワークジッターが発生したことを表します。受信側の右上角の【[送信側を選択して詳細を確認](#)】をクリックして、指定するユーザーIDを選択し、[全リンク詳細](#)に移動して詳細な通話データを確認できます。

表示する時間範囲が長い場合は、データチャートの中でスクロールしてズームすると、より詳細な時点のデータを確認できます。

送信側ビュー

【全て】、【ビデオ】、【音声】、【画面共有】の4つのサブビューに分かれ、対応するタイプのデータを送信した時は、監視ダッシュボード画面に対応するタグ項目が表示されます。ない場合は表示されません。

概要チャートの赤線が現れた部分は、この時点でネットワークジッターが発生したことを表します。送信側の右上角の【[詳細の確認](#)】をクリックすると [全リンク詳細](#) 画面にジャンプし、送信側の詳細データとイベントが確認できます。

表示する時間範囲が長い時は、データチャートの中でスクロールしてズームすると、より詳細な時点のデータを確認できます。

全リンク詳細

最終更新日：2024-07-19 15:32:54

全リンク、即ち音声ビデオデータが送信側で生成されて受信側で処理されるまでの全てのリンク段階の状況は、音声ビデオ通話がスムーズに行われることを保証する必要があるため、その大きな原則は、「良好なネットワーク」+「安定したデバイス」です。このため、開発者はユーザーの通話の全リンクを検査する時に、まずこの2つから開始します。

操作手順

1. TRTCコンソールにログインし、[監視ダッシュボード](#)で確認したいルームを選択します。
2. ルームIDまたは右側の[通話詳細の確認](#)をクリックして、[通話の詳細](#)ページに移動します。
3. 受信/送信側データの表示欄から、確認したいユーザーIDを選択して、次の方法で全リンク詳細画面に入り、2つのユーザー間の全リンク詳細を確認します。

受信側ビューでは、右側の[送信側を選択して詳細を確認](#)をクリックして指定の送信側ユーザーIDを選択します。

送信側ビューでは、右側の[詳細を確認](#)をクリックします。

データの解説

全リンク詳細画面に表示されるデータは、**ビデオ**、**音声**、**画面共有**の3種類に分かれており、送信側と受信側のそれぞれ個別のリンクのデータを確認することができます。

全リンクの詳細については、[ネットワーク状況の分析](#)と[デバイス状態の確認](#)の2つの側面から分析できます。

ネットワーク状況の分析

理想的な状況のネットワーク転送は、パケットロスや遅延がなく、高帯域幅ですが、実際の状況では、往々にして多かれ少かれパケットロス、転送遅延、不安定な状況が存在し、ネットワーク帯域幅にも制限があります。よってネットワーク状況を分析する時は次の部分を重点的に注目する必要があります。

ネットワークパケットロス

ネットワークにパケットロスが出現すると、データチャートに赤線が表示されます。

パケット損失率	ネットワーク状態の説明
= 0	最良
< 2%	基本的に良好
> 5%	不良

> 10%（または持続的なパケットロスが発生）

現在のネットワークに比較的深刻な輻輳が存在します

ビットレート

正常な状況下では、ビデオとオーディオのビットレートは変動範囲±10%以内の曲線です。ビットレートの急激な低下、または30%を超える変動が出現した場合は、現在のネットワークに輻輳またはジッターが発生していることを表します。

ご注意：

画面共有の画面のGOPは長いため（5秒～10秒）、正常な状況では安定した周期のピークとボトムのある曲線となり、キーフレームがある時は、対応するピークがあります。

画面共有上りビットレートとネットワークパケットロス。

画面共有のビットレート曲線には安定した周期のピークがあります。

フレームレート

正常な状況では、ビデオフレームレートは通常15フレーム以上（画面共有のフレームレートは一般的に5フレーム～10フレーム）で、かつ安定して維持されます。フレームレートが5フレームを超える変動が出現、またはフレームレートが抜け落ちて10フレーム以下になって回復しない状態が続く時は、通常、現在のネットワークに輻輳またはジッターが発生し、ユーザーは主観的にラグを感じます。過度に低いフレームレートが出現すると、データチャートに赤線が表示されます。

ビデオ上りフレームレート：取得と送信のフレームレートに分かれます。

ビデオレンダリングフレームレート：フレームレートが低い状況は赤線が表示され、ラグの期間が表記されません。

デバイス状態の確認

デバイスの安定して正常な作動は、音声ビデオ通話を保証する基盤です。デバイス状態が良好な通話は、システムリソースの使用率が低く、デバイス使用が優先されず、データ取得も干渉しません。デバイス状態を確認する時は、優先的に次の情報を確認します。

CPU占有率

CPU使用率は、システム全体のCPU使用率およびアプリのCPU使用率を表示し、正常な状況下ではシステム全体のCPU使用率は<50%で、低いほど良くなります。システム全体のCPU使用率が>85%の時は、プログラムが応答しないまたはレスポンス遅延などの状況が発生しやすくなります。この時には赤線が表示されます。

SDKタスク時間

一部のAndroidシステムとバージョンはCPUをコンピューティングできないため、SDKタスク時間によってデバイスの状態を評価します。消費時間>60msは、システムのCPU使用率が高く、プログラムが応答しなくなったり、

応答が遅くなったりする傾向があることを示します。他のバックグラウンドプログラムを閉じるか、ハードウェアをアップグレードすることをお勧めします。

音量レベル

音声**集音音量**は送信側がマイクから取得したデータの音量となり、**集音音量の大きさに数値の変動があればマイクが正常に音声を集音し、即ちデバイスが正常に作動していることの説明となります。**

音声**再生音量**は受信側が、レンダリングされたデータをデコードした後にスピーカーに送信する音量の大きさと、**再生音量に数値の変動があるとSDKが音声をスピーカーに送信したこと、即ちデバイスの作動が正常であることの説明となります。**

正常な音量の大きさは一般的に40dB~80dBの間で、40dBを下回る時は音声の音量が小さいことの説明となります。ユーザーが音声を聞き取れない場合、携帯電話のミュートをオンにしてないか、またはハードウェアが故障していないかをチェックする必要があります。

解像度

ビデオと画面共有の解像度は補助的な情報で、主にRelayed live streamingおよびレコーディングファイルを再生するための判断に用いられます。ビデオの解像度に変動がある場合、**CDN** 経由でRelayed live streamingを視聴する視聴者またはビデオ再生を視聴する視聴者（特にWebユーザー）には、画面のフリーズ、ぼやけるなどの再生装置との互換性による問題が存在する可能性があります。

説明：

解像度、ビットレート、フレームレートには一定の配合関係が存在します。通常、解像度が固定されている時、ビットレートが高いほど、画面は鮮明になります。またビットレートが固定の場合は、解像度が大きいほど、画面がぼやけます。解像度、ビットレート、フレームレートのパラメータを適切に設定することによって、より良いビデオ画質を実現できます。

クライアントのイベントのチェック

クライアントのイベントに対応するのがSDKを呼び出すAPPのメソッドの操作です。通常はソフトウェアのトラブルの特定やbugの分析の補助に用いられ、ユーザーが使用した操作手順を分析することで、対応するシーンを再現します。クライアントのイベントについては、次の状況に重点的に注目します。

入室、退室イベント。

カメラまたはマイクのオン、オフ。

デバイスの変更：カメラの切り替え、イヤホンの着脱、Bluetooth対応イヤホンの接続など。

プッシュまたは再生の開始、停止。

ミュート/ミュート解除の操作、静止画/静止画の解除。

ネットワーク切り替え：4GからWIFIへの切り替えなど。

詳細なイベントの確認をクリックして、詳細なイベントリストに進み、クライアント上での主要なイベント操作のプロセスを確認することができます。

リアルタイムモニタリング

最終更新日：2024-07-19 15:32:54

ダッシュボードのリアルタイム品質監視機能は、Tencent Real-Time Communication（TRTC）アプリケーション下のルームに対し、複数の指標を提供する可視化されたリアルタイム品質監視サービスです。開発者が素早くリアルタイムでのアプリケーションの実行状況を把握することで、タイムリーに問題を発見し、異常の処理を行うのに役立ちます。

説明：

監視ダッシュボードは、2022年11月1日から商用課金を開始します。デフォルトでは、ユーザーのデフォルト設定は無料バージョンですが、有料のバージョンをサブスクリプションすることで、より多くの機能のロックを解除できます。

機能の説明

リアルタイム品質監視機能の特徴：

オンラインルーム数、オンラインユーザーなどの複数の監視指標の自動収集、処理および秒レベルでの更新をサポートします。

ダッシュボード-通話詳細との接続により、ルーム内ユーザーの使用問題についてのトラブルシューティングを掘り下げて行いやすくなります。

複数の指標アイコンの連携を可視化表示することで、柔軟に特定時点をロックし、問題の分析を行うことができます。

使用手順

1. TRTCコンソールにログインし、[監視ダッシュボード](#) > [リアルタイムモニタリング](#) > [实时监控](#)をクリックすると、リアルタイムモニタリングページに進むことができます。ダッシュボードサービスをアクティブ化していない場合は、先に監視ダッシュボードサービスをアクティブ化してください。
2. フィルタリングアプリケーション `sdkappid` で確認します。注意：新規作成したアプリケーションについては、データ確認前に10分間待機する必要があります。

グローバルの説明

リアルタイム品質監視ページのデータは、20秒毎に更新されます（上部にある最新データの隣から、現在の時刻を確認することができます）。

アプリケーションの選択：アプリケーション次元下におけるすべてのルームの品質監視をサポートします。

時間のロック：ビッグテーブルデータの隣の**ロック**をクリックすると、現在の時刻のデータが固定表示され、詳細なトラブルシューティングを簡単に行うことができます。再度クリックすると、ロックが解除され、最新データが復元します。

最新データ

最新データでは、最新の時刻（過去20秒間）のオンラインユーザー数、異常ユーザー数、オンラインルーム数、ビデオラグ率およびオーディオラグ率の5つのデータ指標を表示します。データ指標の定義については、[監視指標](#)をご参照ください。最新データとは、最新の指標データを指し、20秒毎に更新されます。

ビッグデータ

ビッグデータには、ルール指標および品質指標の2つのテンプレートを含む、合計5つの指標があります。特定時刻のデータ指標の状況を固定して表示するため、時間のロックがサポートされています。

規模の指標

規模の指標では、可視化されたチャートで過去60分以内の現在のアプリケーション下のオンラインユーザー数（異常ユーザー数）、オンラインルーム数を表示します。10秒毎に最新の指標データに更新します。カーソルを折れ線グラフの任意のタイムポイントにもっていくと、そのタイムポイントの指標データを見ることができます。折れ線グラフの任意のポイントをダブルクリックすると、現在のタイムポイントがロックされます。

品質の指標

品質の指標では、可視化されたチャートで過去60分以内のすべてのルーム内の平均ユーザービデオラグ率、オーディオラグ率および異常ユーザー数を表示します。10秒毎に最新の指標データに更新します。カーソルを折れ線グラフの任意のタイムポイントにもっていくと、そのタイムポイントの指標データを見ることができます。折れ線グラフの任意のポイントをダブルクリックすると、現在のタイムポイントがロックされます。

ルーム情報

ルーム情報では、現在のアプリケーション下でまだ終了していないルーム状況の情報を表示します。ルームのディメンションから現在のオンラインユーザー数、異常ユーザー数、ビデオラグ率およびオーディオラグ率を確認できます。

異常ユーザー：現在のルーム内における異常ユーザーの詳細を確認できます。

通話の詳細：このルームの通話の詳細に進み、ルーム内ユーザーの実際の通話品質を確認できます。

ルーム情報をダウンロード：現在のタイムポイント下のルーム情報データを、ダウンロードできます。

上記の3つの操作で、時間を対応する操作のタイムポイントにロックすることができるため、ユーザーは、具体的なデータ状況を掘り下げて確認することができます。ビッグデータの隣の**最新時間に戻る**をクリックするとロックを解除できます。

多次元情報

多次元情報は、国家、省、ネットワーク、デバイス、SDKバージョン情報およびキャリアのディメンションに基づき、監視指標データの表示をサポートします。

多次元データ明細はエクスポートのダウンロードをサポートします。

重要指標の定義

規模の指標

指標名	説明
オンラインルーム数	過去10秒間に報告された各ルームの累計入室ユーザー総数で、ルーム名とユーザー名により重複を排除しています。異なるルームに参加したユーザーは重複してカウントされます
オンラインユーザー数	過去10秒間にユーザーが入室したルームの総数です
異常ユーザー数	過去10秒間の各ルームの異常ユーザー総数です。異常ユーザーは以下の異常イベントのルームユーザーをトリガーとします。 異常イベント：送信側のCPU使用率が高すぎる、送信側のビデオキャプチャフレームレートの異常、受信側のビデオレンダリングフレームレートの異常、送信側のサブ画面キャプチャフレームレート異常、受信側のサブ画面レンダリングフレームレート異常

品質の指標

指標名	説明
ビデオラグ率	ビデオに発生したラグの時間 / ビデオの合計時間 × 100% (ビデオラグが600msに達すると、ラグ時間としてカウントされます)。更新周期は10秒です
オーディオラグ率	オーディオに発生したラグの時間 / オーディオの合計時間 × 100% (オーディオラグが200msに達すると、ラグ時間としてカウントされます)。更新周期は10秒です
レベル別のビデオラグ率	低ラグ：[0.00% ~ 5.00%) (緑) 比較的高いラグ：[5.00%、10.00%) (黄)、高いラグ：10.00%以上 (赤)
レベル別のオーディオラグ率	低ラグ：[0.00% ~ 3.00%) (緑)、比較的高いラグ：[3.00% ~ 5.00%) (黄)、高いラグ：5.00%以上 (赤)

Restful API

リアルタイムモニタリング機能はRESTful APIを提供しています。APIリクエストによって関連データを取得できます。

説明：

リアルタイムモニタリングRestful APIは、監視ダッシュボードサービスの「ベーシック版」あるいは「アドバンス版」のクライアントの呼び出しのアクティブ化のみをサポートしています。

開発支援

UserSigの生成と検証

最終更新日：：2024-07-19 15:32:54

TRTCコンソールでは、オンラインでの署名（UserSig）生成をサポートしていますが、このUserSigは開発段階のクイックテストにのみ使用されます。正式なサービス開始前に、UserSig計算ロジックをバックエンドサーバーに移行し、暗号化キーの漏洩によるトラフィックの盗用を回避してください。

署名（UserSig）生成ツール

開発者とTencent Cloudサービスとは、署名（UserSig）検証を通じて信頼関係が確立されます。

1. TRTCコンソールに入り、左側のバーの【開発支援ツール】>【UserSigの生成&検証】を選択して、【署名（UserSig）生成ツール】コンポーネントを確認してください。
2. ドロップダウンリストをクリックして作成済のアプリケーション（SDKAppID）を選択します。完了すると対応するキー（Key）が自動生成されます。
3. ユーザー名（UserID）を入力します。
4. 【署名（UserSig）生成】をクリックして、対応する署名（UserSig）を生成します。

署名（UserSig）検証ツール

このツールを使用して署名（UserSig）の有効性を確認します。

ご注意：

使用時は、検証をリクエストする時に入力するSDKAppID、UserIDがUserSigのSDKAppID、UserIDと一致していることを確認してください。

1. TRTCコンソールに入り、左側のバーの【開発支援ツール】>【UserSigの生成&検証】を選択して、【署名（UserSig）検証ツール】コンポーネントを確認します。
2. 検証したいアプリケーション（SDKAppID）を選択します。完了すると対応するキー（Key）が自動生成されます。
3. ユーザー名（UserID）を入力します。
4. 検証したい署名（UserSig）をコピーして、【署名（UserSig）】の中にペーストし、【検証開始】をクリックします。

説明：

【署名（UserSig）生成ツール】コンポーネントの中で生成したUserSigである場合、【署名（UserSig）のコピー】をクリックしてコピーすることを推奨します。

5. 検証の完了後、下側の検証結果を確認できます。

関連資料

その他のUserSigに関するご質問は、[UserSigに関するご質問](#)をご参照ください。